



平成 22 年 9 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 22 年 7 月 30 日

上場会社名 パラカ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4809 URL <http://www.paraca.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 内藤 亨
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 間嶋 正明 (TEL) 03 (6230) 2300
 四半期報告書提出予定日 平成 22 年 8 月 11 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 22 年 9 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22 年 9 月期第 3 四半期	5,011	12.0	975	37.4	757	53.7	394	70.0
21 年 9 月期第 3 四半期	4,473	—	710	—	492	—	231	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22 年 9 月期第 3 四半期	8,668.51	8,647.93
21 年 9 月期第 3 四半期	5,004.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22 年 9 月期第 3 四半期	17,615	5,070	28.7	111,390.32
21 年 9 月期	17,608	4,793	27.2	105,454.04

(参考) 自己資本 22 年 9 月期第 3 四半期 5,063 百万円 21 年 9 月期 4,793 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21 年 9 月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
22 年 9 月期	—	0.00	—	—	—
22 年 9 月期(予想)	—	—	—	1,200.00	1,200.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有

3. 平成 22 年 9 月期の連結業績予想 (平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	6,680	10.2	1,230	21.1	929	28.7	480	35.6	10,559.43

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

22年9月期3Q	47,532株	21年9月期	47,532株
22年9月期3Q	2,075株	21年9月期	2,075株
22年9月期3Q	45,457株	21年9月期3Q	46,319株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（自平成21年10月1日至平成22年6月30日）における我が国の景気は、円高による短期的な輸出下押し要因や、株安による逆資産効果、企業マインドの悪化による設備投資や個人消費への悪影響が懸念されるものの、世界経済は回復基調にあり、企業の収益や景況感は引き続き改善しております。

当社グループの属する駐車場業界においては、住宅ローン減税や住宅版エコポイントなど政府の支援策が追い風となりマンション需要が回復するなど、不動産市況の持ち直しにより建築関係の駐車場利用が回復してきております。

このような中で、当社グループは積極的な営業活動を行い、賃借駐車場の新規開設と不採算事業地の採算向上を進めました。その結果、当第3四半期連結累計期間においては101件1,081車室の新規開設、42件575車室の減少により、59件506車室の純増となり、6月末現在768件11,083車室が稼働しております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、新規駐車場においては採算性の高い事業地の開設を行い、既存駐車場については運営コストの低減を行うことにより大幅な増益となっております。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,011百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益975百万円（同37.4%増）、経常利益757百万円（同53.7%増）、四半期純利益394百万円（同70.0%増）を計上いたしました。

今後につきましては、既存駐車場において、引き続き採算性を重視した駐車料金見直しを行うとともに、営業力の強化による新規駐車場の量的拡大を図ってまいります。

なお、当社グループの具体的な事業区分別の状況は以下のとおりであります。

(賃借駐車場)

当第3四半期連結累計期間においては59件498車室の純増となり、6月末現在においては668件7,540車室が稼働しております。車室数の堅調な増加により、売上高3,896百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

(保有駐車場)

当第3四半期連結累計期間においては1件17車室の取得及び1件9車室の売却により8車室の純増となり、6月末現在においては100件3,543車室が稼働しております。売上高989百万円（同3.3%減）と微減となりました。

(その他事業)

その他事業に関しては、不動産賃貸収入、自動販売機関連売上及び駐輪場売上により、売上高125百万円（同7.9%増）となりました。

事業区分別の売上高は以下のとおりであります。

事業区分	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)	前年同期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	前連結会計年度 (自平成20年10月1日 至平成21年9月30日)
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
賃借駐車場	3,896	3,334	4,538
保有駐車場	989	1,023	1,361
その他事業	125	116	159
合計	5,011	4,473	6,060

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は17,615百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円増加いたしました。これは主に土地が減少(117百万円)したものの、有形固定資産におけるリース資産の増加(205百万円)及び新システム導入による無形固定資産の増加(59百万円)によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債の部は12,545百万円となり、前連結会計年度末に比べ270百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少(563百万円)によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産の部は5,070百万円となり、前連結会計年度末に比べ277百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益により利益剰余金が増加(348百万円)したことによるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の27.2%から28.7%となっております。

(キャッシュ・フローについて)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」)は、前連結会計年度末に比べ86百万円減少し、1,483百万円となりました。主な要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は前年同四半期に比べ225百万円増加し、589百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益742百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は前年同四半期に比べ437百万円減少し、19百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出108百万円、有形固定資産の売却による収入177百万円及び無形固定資産の取得による支出63百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は前年同四半期は43百万円でしたが、当第3四半期連結会計期間は財務活動に656百万円使用いたしました。これは主として、長期借入金の返済による支出686百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済情勢につきましては、経済対策効果の一巡や欧州経済の下振れなどのリスクを内包しているものの、緩やかな自律的回復が続いていくと思われまます。

当社グループの属する駐車場業界におきましては、国内不動産市況の回復による賃借駐車場の解約増加が懸念される一方、景気回復期待や政府の住宅取得支援策による建築増加に伴う工事関係車両の利用増加に加え、景気回復による駐車場利用者の増加が期待されます。

このような状況のもと、新規駐車場においては柔軟な契約形態及び精緻な収支予測に基づく案件の獲得、既存駐車場においては駐車料金及びコストの見直しによる収益性の向上を目指してまいります。

上記の施策を推し進めた結果、当期業績につきましては過去最高益を更新するペースで推移しており、平成21年11月6日に発表した連結業績予想を上方修正しております。詳細は本日付公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」を御参照願います。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。この影響のため、実際の業績が公表している見通しと異なる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,507,918	1,583,297
売掛金	38,970	41,204
その他	372,411	349,650
貸倒引当金	△405	△736
流動資産合計	1,918,894	1,973,415
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,044,738	1,105,118
土地	13,536,045	13,653,483
リース資産（純額）	530,192	325,173
その他（純額）	131,409	206,741
有形固定資産合計	15,242,385	15,290,516
無形固定資産	71,346	11,356
投資その他の資産	383,126	333,432
固定資産合計	15,696,858	15,635,305
資産合計	17,615,752	17,608,720
負債の部		
流動負債		
買掛金	71,877	56,440
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	931,688	909,388
未払法人税等	209,961	192,091
賞与引当金	10,365	18,065
その他	292,885	313,152
流動負債合計	1,536,776	1,509,138
固定負債		
社債	350,000	370,000
長期借入金	9,292,975	9,856,636
その他	1,365,248	1,079,322
固定負債合計	11,008,223	11,305,958
負債合計	12,545,000	12,815,096

（単位：千円）

	当第3四半期連結会計期間末 （平成22年6月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年9月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,576,807	1,576,807
資本剰余金	1,606,807	1,606,807
利益剰余金	2,223,814	1,875,227
自己株式	△100,841	△100,841
株主資本合計	5,306,587	4,958,000
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	356	4,047
繰延ヘッジ損益	△243,474	△168,423
評価・換算差額等合計	△243,118	△164,376
新株予約権	7,282	—
純資産合計	5,070,751	4,793,624
負債純資産合計	17,615,752	17,608,720

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
売上高	4,473,342	5,011,297
売上原価	3,258,349	3,479,906
売上総利益	1,214,992	1,531,391
販売費及び一般管理費	504,813	555,601
営業利益	710,179	975,789
営業外収益		
受取利息	736	244
受取補償金	—	1,908
その他	2,546	2,831
営業外収益合計	3,282	4,984
営業外費用		
支払利息	210,243	217,564
その他	10,604	5,971
営業外費用合計	220,847	223,535
経常利益	492,614	757,238
特別利益		
固定資産売却益	—	108,169
特別利益合計	—	108,169
特別損失		
固定資産除却損	14,054	17,050
減損損失	—	93,277
固定資産売却損	2,384	—
販売用不動産評価損	40,087	—
特別損失合計	56,526	110,328
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	436,087	755,080
匿名組合損益分配額	14,157	12,575
税金等調整前四半期純利益	421,930	742,505
法人税等	190,147	348,460
四半期純利益	231,783	394,044

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,507,316	1,670,728
売上原価	1,097,237	1,163,691
売上総利益	410,079	507,036
販売費及び一般管理費	164,199	188,474
営業利益	245,880	318,562
営業外収益		
受取利息	24	12
受取配当金	177	202
保険返戻金	—	721
その他	662	955
営業外収益合計	864	1,891
営業外費用		
支払利息	70,004	73,001
その他	6,079	2,068
営業外費用合計	76,084	75,070
経常利益	170,660	245,384
特別利益		
固定資産売却益	—	107,328
特別利益合計	—	107,328
特別損失		
固定資産除却損	9,274	7,655
減損損失	—	93,277
特別損失合計	9,274	100,932
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	161,385	251,779
匿名組合損益分配額	4,695	3,088
税金等調整前四半期純利益	156,690	248,691
法人税等	70,466	143,032
四半期純利益	86,223	105,659

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	421,930	742,505
減価償却費	105,946	163,589
減損損失	—	93,277
販売用不動産評価損	40,087	—
賞与引当金の増減額（△は減少）	△8,863	△7,700
受取利息及び受取配当金	△1,039	△573
支払利息	210,243	217,564
有形固定資産売却損益（△は益）	2,384	△108,169
有形固定資産除却損	14,054	17,050
売上債権の増減額（△は増加）	△3,290	2,234
たな卸資産の増減額（△は増加）	△324	339
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△13	△22,081
仕入債務の増減額（△は減少）	△6,952	15,436
その他の流動負債の増減額（△は減少）	11,284	398
その他	△15,138	13,045
小計	770,309	1,126,916
利息及び配当金の受取額	1,039	573
利息の支払額	△210,781	△220,575
法人税等の支払額	△196,416	△317,470
営業活動によるキャッシュ・フロー	364,151	589,443
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,005	△17,511
定期預金の払戻による収入	6,000	6,000
有形固定資産の取得による支出	△448,838	△108,448
有形固定資産の売却による収入	10,136	177,879
無形固定資産の取得による支出	—	△63,899
敷金及び保証金の差入による支出	△8,947	△15,244
その他	△4,013	1,369
投資活動によるキャッシュ・フロー	△457,668	△19,855
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	200,000
短期借入金の返済による支出	—	△200,000
長期借入れによる収入	640,980	145,000
長期借入金の返済による支出	△587,082	△686,361
社債の発行による収入	400,000	—
社債の償還による支出	△310,000	△20,000
自己株式の取得による支出	△99,967	—
リース債務の返済による支出	—	△50,377
配当金の支払額	—	△44,739
財務活動によるキャッシュ・フロー	43,930	△656,478
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△49,586	△86,890
現金及び現金同等物の期首残高	1,562,046	1,570,790
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,512,459	1,483,899

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)並びに前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年6月30日)

当社グループは、駐車場の運営及び管理に関連する事業を単一の事業として運営しており、これ以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

b. 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)並びに前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

前第3四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)並びに前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年6月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。